

答 (社会教育課)

①計画段階であるが、剥がした芝は、有効利用するべきであり、希望者を募って、芝を配布する方法を考えている。

②国体種目であるホッケー専用の芝の長さにしてしまうと、今後は、それしか利用できなくなるので、できるだけ多目的に利用できるように芝の長さにして、ホッケーはもちろん他の競技での利用促進を図りたい。

シルバー人材センター補助金

問

①現在の登録会員数・平均年齢・売上額・事務運営費の割合は。
②主な仕事内容と、時間給は。

答 (長寿介護課)

①平成25年2月28日現在で、登録会員数は186

人であり、平均年齢は、68歳である。

売上額は、平成23年度実績で9409万円であり、そのうちの7%が事務運営費である。

②庭木の剪定や事務的な補助、期間作業員などが主な仕事である。

時間給は、最低が750円で、剪定作業等の技術を持っている方は、最高で1000円である。

産業建設委員会

除間伐材出荷促進事業費補助金

問

補助要件と実績は。

答 (産業建設課)

除間伐材を木材加工センターへ5立米以上出荷した者など、本市に住所を有している者、市税を完納している者、伊予森林組合の組合員である者、この4つの条件を満

たした方に対して、1立米当たり2000円を限度として補助を行っている。

平成23年度実績では、7083立米余りで、1400万円余りの補助を行った。

平成25年度においては、6000立米を見込んでおり、1200万円を補助する予算を計上している。

アスベスト含有調査業務補助金

問

業務内容は。

答 (都市整備課)

対象となる建築物は、民間の建築物で吹付けのアスベスト等が施工されている恐れがある住宅、建築物についての調査業務に係る補助金で、1カ所当たり10万円以下、1棟につき25万円が限度である。

これまで実績はゼロであるが、この制度を活用していただけるよう、周知を図っていききたい。

鳥ノ木団地耐震補強・外部等改修工事

問

耐震補強の工法と補強改修後の耐用年数は。

答 (都市整備課)

鋼板内蔵薄肉コンクリート部材による耐震補強工法で、基本的に鉄骨と薄い板を入れ、それに鉄筋を巻き、コンクリートで固めた部材で補強工事を行うものである。公営住宅法により耐用年数は70年となっており、今回の耐震補強・改修工事によって、30年近く居住可能になる。



耐震補強済みの鳥ノ木団地8棟 (下吾川)

市道草刈業務委託料

問

各地域の委託状況は。

答 (道路河川課)

中山地域では、全て広報区に委託しているが、双海地域では、シルバー人材センターと広報区への委託が半々である。

また、伊予地域では、集落間に人家がないところが多くあり、広報区にお願いできない箇所は、シルバー人材センターに委託している。